



三が日

一月一日から三日までが三が日。この期間は正月気分でのんびり過ごした方も多かったことでしょう。

こうした習慣は、時代により少しずつ違ってはいるようですが、この三日間は、家族が暗れ着を着て集まり、おとそで新年を祝い、雑煮やおせち料理を食べるといのが、一般的のようです。そして、年始のあいさつに行ったり、反対に人が来たりします。

おせち料理はごちそうであり、三が日の間、料理などをしなくて済むための保存食でもあるようです。また、三が日は、朝は毎日雑煮、昼・晩もご飯を炊かずにおしる粉やきなこ餅を食べることも、めずらしくありません。また、正月七日の朝に食べる春の七草がゆは、日本の習慣から生まれた智慧ではないでしょうか。

しかし、昔は餅を食べるのが楽しみだったのが、最近は正月といっても特に餅を食べることをしないで、いつもどおりのパン食という家庭も多くなってきたようです。